

# 教育活動の評価に関するアンケート調査 実施要領

## 1. 本調査の趣旨

- 近年、内部質保証の実質化がより強く求められていますが、その際に重要となることのひとつは、学部・学科等における個々の教育活動の質を担保していくことです。すなわち、学部・学科等ごとに教育の企画・設計、教育の実施、そしてその教育活動の評価とそれに基づく改善・向上を、各大学において確実に行っていかなければなりません。しかしながら、こうした一連の取り組み、なかでも、評価については手さぐりの状況であることも否めません。そこで大学基準協会（以下、「本協会」といいます。）は、学部・学科等ごとの教育活動に関する評価について現状を整理し、望ましい在り方を探る一環として、本アンケート調査を実施いたします。

## 2. 本調査の対象

- 全国の4年制又は6年制大学の学士課程を対象とします。そこにおいて、教育活動に関する評価がどのように行われているか（評価事項や実施体制等）、またどのような意識が持たれているか等の現状を調査します。

## 3. 調査項目の構成と回答者

- 調査項目は、2つの部分から構成され、それぞれ別な回答者が想定されています。

**第Ⅰ部** … 大学全体の状況に関する項目

**第Ⅱ部** … 特定の学部（学群等これに相当する教育組織を含む）における状況に関する項目

- 第Ⅰ部は、学長その他執行部の方、大学全体の質保証の責任者など、大学全体の教育運営に責任のある方に回答をお願いいたします。  
第Ⅱ部は、回答対象の学部長その他学部における教育や質保証の責任者などに回答をお願いいたします。

## 4. 回答内容

- 第Ⅱ部は、任意の学部が対象です。以下の分類に従って、文・理・その他のそれぞれ1学部ずつ（合計3学部）について回答してください。複数の学部を置く大学であっても、それら全てが1つの分類となる場合は、何れか1つの学部のみを回答し

てください。

文	…	①人文科学	②社会科学	③家政	④教育	⑤芸術
理	…	⑥理学	⑦工学	⑧農学	⑨医学・歯学	⑩薬学
		⑪	⑨及び⑩以外の保健分野	⑫商船		
その他	…	文理融合又は上記以外の分野				
※ 文部科学省学校基本調査における「学科系統分類表」を参考に分類してください <sup>(脚注1)</sup> 。						

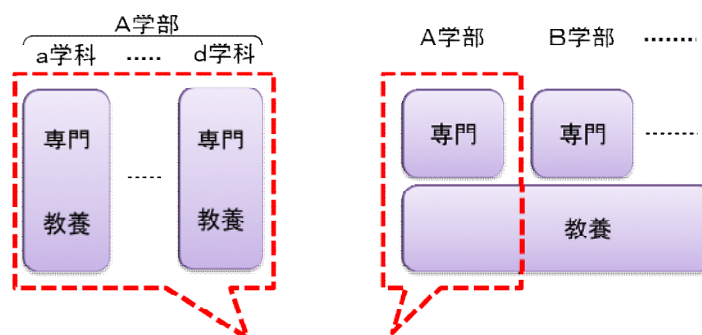
→ 例① 設置学部が「法経学部」「理工学部」の場合：

それぞれ回答。

→ 例② 設置学部が「医学部」「リハビリテーション学部」「社会工学部」の場合：

全て「理系」の分類にあたるので、これらのうち任意の1学部のみを回答。

- 学部ではなく**学科や専攻**が教育やその評価の単位となっている、あるいは教養教育を**学部横断的**に行っているなど、教育や評価の単位が学部という単位と一致しない場合もあります。このような場合でも、**1つの学部における4年間（6年間）の教育に関する状況を総合して**回答してください。



回答は1つ（総合的に状況を捉える）。

## 5. 回答方法

- 選択式回答と記述式回答からなります。いずれも、調査票の所定欄に記入してください。
- 調査票はMS-Excel形式です。**電子データとして回答を作成し提出**してください。調査票は、**本協会ウェブサイトからダウンロード**できます。

脚注1

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2017/12/22/1388724\\_4.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2017/12/22/1388724_4.pdf)

→ ※ トップページ「News 最新情報」にある「教育活動の評価に関するアンケート調査について」から。

- ・ 回答の提出は電子メールによります。なお、第Ⅰ部の回答と第Ⅱ部の回答は別とせずあわせて提出してください。特別の事情によって回答の提出が別となる場合は、その旨を必ず連絡してください。

## 6. 回答期間

- ・ 平成30年3月30日(金)まで。

## 7. 回答提出先

- ・ kikaku@juaa.or.jp

## 8. 回答の取り扱い

- ・ アンケート調査を通じて貴大学より得る情報は、本調査研究においてのみ用い、統計的処理によって匿名性が保たれるようにします。  
なお、今後実施することを予定している一部の大学への訪問調査について、対象校選定の基礎資料として本アンケート調査を活用いたします。

## 9. 連絡先情報提供のお願い

- ・ アンケートに関して、確認等の必要から本協会よりご連絡を差し上げる場合がありますので、第Ⅰ部調査票の末尾にある欄に、貴大学の連絡先をご記入ください。

以上、諸事ご多端の折まことに恐縮に存じますが、本調査研究の趣旨をご理解のうえご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(問い合わせ先)

大学評価・研究部 企画・調査研究系 (蔦、松坂)

〒162-0842

東京都新宿区市谷砂土原町2-7-13

電話：03-6228-1315 FAX：03-3260-3667

E-mail：kikaku@juaa.or.jp

## (補) 語義

※ アンケート中で用いられるいくつかの語について、語義は以下の通りです。

### 外部評価

学外者が評価主体となつて行う評価。「薬学評価機構」等の評価機関によるものだけでなく、大学が委嘱する特定の個人等によるものもすべて含みます。ただし、本調査では「外部評価」から認証評価を除外してください。

### 付加的な教育プログラム

大学で行われる教育プログラムのうち、正課の学位プログラム以外のもので、正課の学習を進めるうえで必要な知識・技能を補充するためのプログラム（例：リメディアル・プログラム）や、正課の内容や水準を超えた学習経験を与えるためのプログラム（例：ギャップイヤー・プログラム、語学力向上プログラム）を指します。

### 教育目標

大学の理念等を基礎に教育の目指すべき方向性を示した教育目的（例：人材養成に関する目的）等と区別される概念です。「教育目標」として本調査で意味しているのは、この目的等を実現するために設定する具体的な到達目標等です。

### 学習支援

履修指導といった教育上の指導とは別に、学生が円滑に学習を行っていくために実施する支援。特定の窓口を通じた自主学習の相談対応や、留学生の修学上の支援、また、本調査においては広義に捉え、教育・学習のための施設・設備等の環境整備も含みます。